

分散型遠方監視装置 ET3000シリーズ

導入事例 発電機監視ソリューション

分散型遠方監視装置(ET3000シリーズ)を介して、現場の発電機をお手元のPCなどから集中監視制御することができます。専用サーバは不要です。一括監視による利便性向上に加え、各装置間のデータを相互に保持でき、システム障害リスク低減に貢献します。

今回は、発電機監視における適用例をご紹介します。



特長

子局間連携によるデータの保全性の確保



各監視装置の相互データ連携機能により、監視データを冗長化し、システム障害リスクを低減します。災害などで監視装置が故障した際には、動作時履歴を連携端末側で確認できるなど、データの保全性を確保できます。すべての監視装置のデータは、お手元のPCブラウザなどから一括で監視制御でき、監視体制の省力化・効率化に貢献します。



専用サーバ不要の分散型で、コストを抑えてシステム構築

導入・維持に費用のかかる専用サーバを必要としない、Webサーバ機能を内蔵した分散型システムです。また、監視対象は1地点から柔軟に拡張できます。導入・メンテナンスコストを抑えて監視環境を構築できます。



多彩な監視インターフェース

デジタル入出力インターフェースはもちろん、燃料量などのアナログデータを取り込めるアナログインターフェースなど、多彩なインターフェースをご用意しています。



さまざまな通知対応

現場で警報などが発生した場合は、監視子局から注意灯などへ通知します。また、SNMPトラップ機能により、既設のネットワーク監視装置等から管理者宛にメールで通知できます。



幅広い環境に対応

本体・拡張I/F含め、ファンレス機構で-20~60°Cの環境に対応しており、幅広い場所に設置できます。

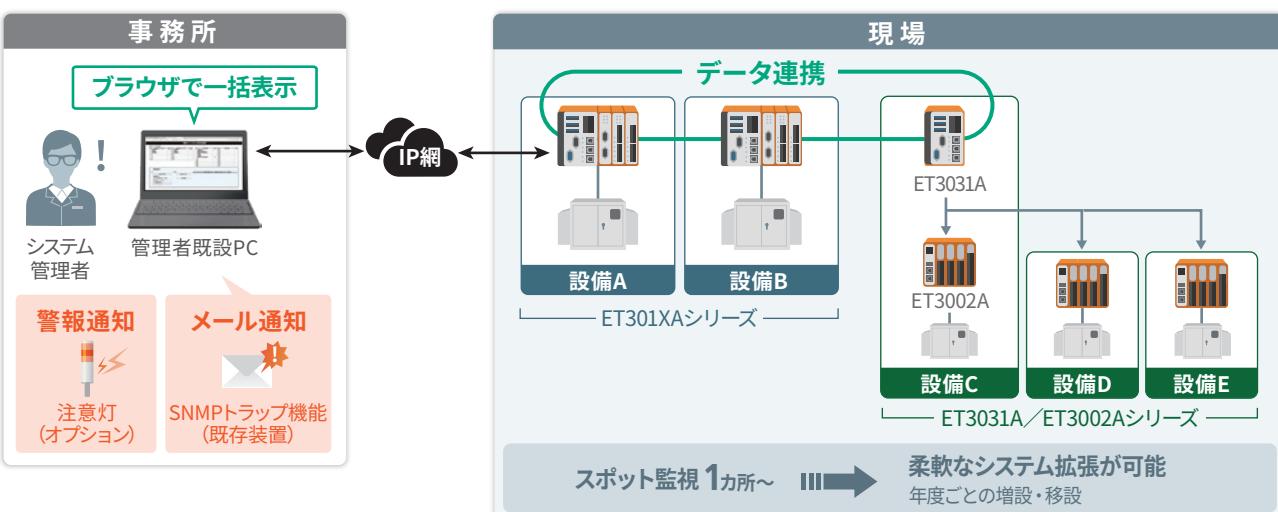
装置の大きさは、現場の収納架に収納しやすいコンパクトサイズです。



ET301XA
シリーズ
ET3031A/ET3002A
シリーズ

システム適用例(非常用発電設備他監視システムへの適用)

分散型遠方監視装置を経由してお手元のPCブラウザなどで局所詳細を一括表示します。1ヶ所からのスポット監視もでき、増設もできます。増設した際には相互に監視データを保持しているので、履歴確認ができ、障害耐性の強化につながります。経済性に優れたET3031A/ET3002Aシリーズと、障害耐性に優れたET301XAシリーズを組み合わせて、システム特性に応じた最適なシステムををご提案いたしますのでお気軽にご相談下さい。



すでに各所に導入していただいております

国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所 多摩出張所 様

庁舎の非常用発電機の監視制御に 分散型遠方監視装置を導入



京浜河川事務所様では、分散型遠方監視装置を用いて、出張所庁舎の非常用発電機の監視・制御を行っています。現場に赴くことなく、遠方の事務所内、および出張所の既設PCで常時監視・制御できます。また、非常時には、発電機のON/OFFの制御が遠隔からできます。



導入先概要

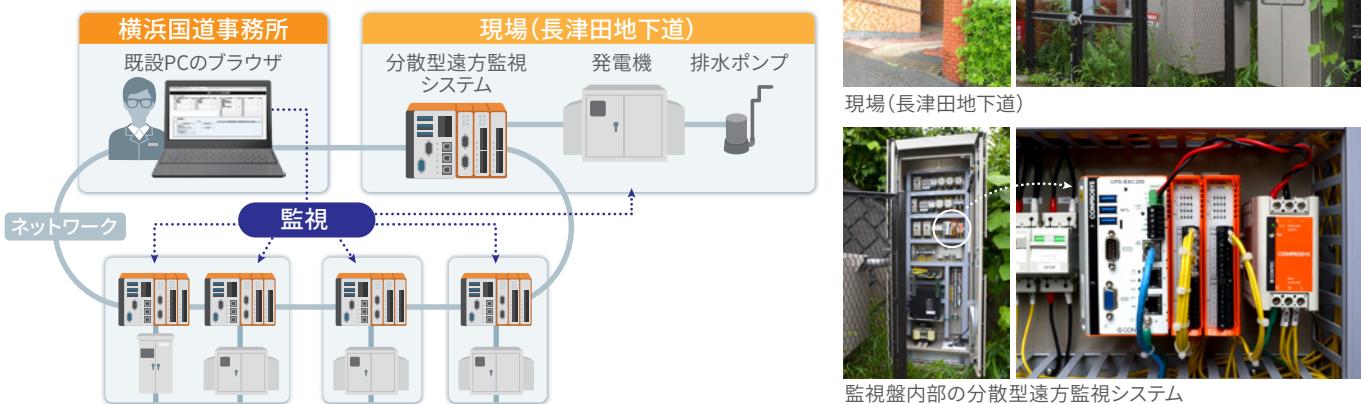
国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所 <https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>
〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央2-18-1

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 様

アンダーパス排水ポンプ用発電機の監視に 分散型遠方監視装置を導入



横浜国道事務所様では、所管の4か所の歩行者用地下道(アンダーパス)の排水ポンプ用発電機の監視に、分散型遠方監視装置を活用しています。複数の現場に分散型遠方監視装置を配置し、事務所内のPCで一括監視を実現しています。



導入先概要

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 <https://www.ktr.mlit.go.jp/yokohama/>
〒221-0855 神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢西町13-2